

ごまがみん

広報



土にまみれてじゃがいもを掘る園児たち

収穫の楽しさ体験

去る9月1日、市内栄地区にある「市民農園」で、幼稚園児たちによる「じゃがいも収穫」が行われました。この市民農園は、市が今年4,500㎡を造成し、市民に提供しているものです。

この日の収穫には、富士幼稚園と広田保育園の年長組園児、それに保母ら約80人が参加して

市が管理しているじゃがいも畑で行われました。

園児たちは、気温が30度を超す暑さの中、自分の手よりも大きなじゃがいもを続々と掘り出し、約1時間にわたって収穫の楽しさを体験しました。掘ったじゃがいもは、そのままプレゼントされました。

平成2年

9.15 No.719

人口と世帯

		前月比
男	24,295	(-31)
女	26,724	(-25)
計	51,019	(-56)
世帯数	15,227	(+19)

(7月31日現在 住民基本台帳調)

ふるさとをPR 「フェスタあおもり」開催



地域づくりなどを紹介する展示ブースがずらり並んだ会場

県内六十七市町村の地域づくりの成果を一堂に集め、紹介する「ふるさとあおもりフェスタバル」(通称・フェスタあおもり)が「ふるさとパワート」まるごと体感」をテーマに八月二十五・二十六の両日、青森市の県営スケート場で開催されました。

このフェスタあおもりは、県と各市町村が共催して地域づくりの成果を披露するとともに、今後の地域づくりに生かして行くことを目的に開いたものです。開会式では、ふるさとあおもりフェスタバル実行委員会長の北村知事があいさつを述べた後、関係者によるテープカットが行われました。

会場には、各市町村別に展示ブースがずらりと並び、特色ある地域づくりを紹介しました。五所川原市の展示ブースでは、日本虫おくりの里建設構想をメインに、虫人形、ヒバ家具(春藤家具店)、津軽金山焼(松宮亮二さん)の展示と「虫おくりと火まつり」のビデオ放映、赤いりんごジュースの試飲、赤いりんごジュースの試飲が行われ、来場者の目を引いていました。



五所川原市の展示ブース

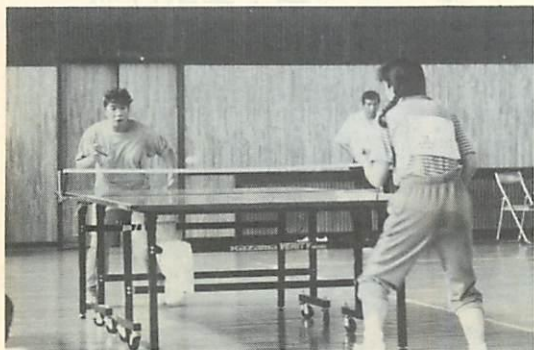


迫力ある演奏を披露する「ピース」



ユアバンド「ピース」があおもりアマチュアバンドスプリットに出演し、迫力ある演奏を披露しました。

総合で栄小Aが3年連続優勝 —ママさん体育大会—



卓球競技でがんばるママさん

「第21回ママさん体育大会」が9月2日、五一中体育館を主会場に開かれ、各学区から選手など約450人が参加しました。同大会は、日頃運

動不足になりがちな婦人達の健康と体力の増進を図り、市民のスポーツへの関心を盛り上げようと市教育委員会が主催しているものです。

競技はキックボール、綱引きなど4種目で行われ、参加者はそれぞれの学区の期待を担って健闘しました。上位入賞チームは次のとおりです。

(敬称略)

総合…①栄小A②中央小③五小A、キックボール…①栄小②五小A③中央小、綱引き…①中央小②栄小③梅泉小、卓球(団体)…①栄小②南小③五小、同(個人)…①岡田(飯詰小)、(ダブルス)…品川、佐々木(東小)、グラウンドゴルフ(団体)…①栄小A②松島小A③五小A、同(個人)…①中村(五小B)、ホールインワン賞…佐藤(松島小A)、中村(五小B)、古川(飯詰小B)、前田(梅泉小)

第1回牧場・花菖蒲せせらぎまつり記念 写真コンテスト入賞者決まる

市では、去る7月7日から15日までの9日間開催した「第1回牧場、花菖蒲せせらぎまつり」を記念して「写真コンテスト」の作品を募集していましたが、9月4日、その審査会を開き、次の方々が入賞されました。入賞作品は、9月10日から市庁舎内に展示されることになっています。

(敬称略)

○最優秀賞…奈良修一(弘前市) ○優秀賞…葛西十三雄(板柳町) ○入選…長内壮外(板柳町) 成田卓朗(田舎館村)、高橋安則(平内町) ○佳作…竹浪順三郎(板柳町)、小山内明義(石岡)、奈良修二(黒石市)



最優秀賞に選ばれた奈良修一さんの作品

平成2年度 市民秋まつり



- ▷日時 9月30日(日) 午前10時～
(雨天中止)
- ▷場所 狼野長根公園野外ステージ
- ▷催し物 ○金多豆蔵 ○ロック演奏
○津軽民謡ショー
- ◎主催 五所川原市観光協会



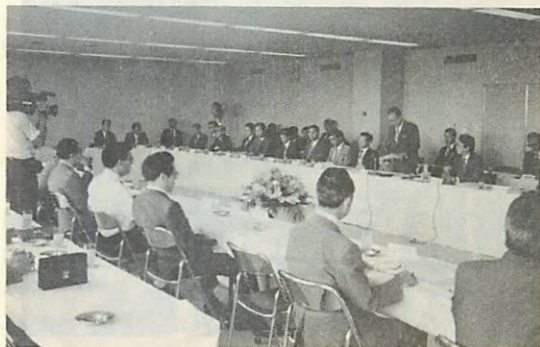
圏域の振興策を要望

県が主催する西北五地方行政連絡協議会が8月28日、県合同庁舎で行われ、県と西北五広域市町村圏の代表らが圏域の振興策について意見を交換しました。

協議会には、県から北村知事と各課長、圏域からは小山内助役をはじめ町村長など合わせて約60人が出席しました。

北村知事のあいさつに続いて、圏域側から①半島振興計画の推進②農業の振興③ふるさと交流圏民センターの建設④高速交通体系の整備⑤広域交通体系の整備の5項目が提示され、説明と意見交換が行われました。

—西北五地方行政連絡協議会—



合同庁舎で開かれた協議会



小山内助役に手渡す錦町青年会の皆さん

社会福祉にと3万8千円寄付 —錦町青年会—

錦町青年会(三橋一允会長)は9月6日、社会福祉に役立ててくださいと3万8千円を寄付しました。これは、同青年会の結成10周年記念納涼祭でのチャリティの売り上げ金の一部を寄付したものです。

この日は、三橋会長と葛西勇一・七戸敏夫副会長が市役所を訪れ、小山内助役に手渡しました。

社会福祉にと10万円寄付 —東北サファリパーク—



小原事務局長(左)に手渡す晴山常務取締役(右)

東北サファリパークは9月4日、社会福祉に役立ててくださいと10万円を寄付しました。

これは、8月5日から9月2日まで旧五小跡地で開催された「世界の動物園」の収益の一部を寄付したものです。

この日は、同社の晴山常務取締役が五所川原市社会福祉協議会の小原事務局長に手渡しました。



愛情測定ゲームを楽しむ参加者たち

愛の輪レクリエーション大会 開かれる

市民体育館で8月29日、「第13回愛の輪レクリエーション大会」が開かれ、市内の精神薄弱児(者)とその家族約250人が参加しました。これは、市社会福祉協議会と市手をつなぐ親の会が主催し、福祉協力校に指定されている毘沙門小学校、五一高と五所川原並びに東日流(つがる)両ライオンズクラブの協力により、精薄者との交流を深めながら、地域の人々の理解と協力を得て、社会に融和することを目指すことを目的に開かれたものです。

104番(番号案内料)の 無料措置申込について

104番への電話番号問い合わせは、本年12月1日を目途に料金(1番号案内につき30円)をご負担頂くこととなりますが、目や上肢等に一定以上の障害をお持ちの方については、事前にお申し込みいただければ今までどおり無料で番号案内を利用することができます。

▷対象となる方

(1)身体障害者手帳をお持ちで次の障害を有する方

- 身体障害者等級表による級別が1～6級で視覚障害を有する方
- 同上の級別が1～2級で肢体不自由(上肢及び体幹)の障害を有する方
- 同上で肢体不自由(乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害)の障害を有する方

(2)戦傷病者手帳をお持ちで次の障害を有する方

- 重度障害の程度が特別項症～第6項症で視力障害を有する方
- 同上の第2項症で上肢に障害を有する方

▷申込期日 9月1日から受け付けています。

※申込方法等詳しいことは、NTT(局番なしの116番)、または市福祉事務所福祉係(☎352111番内線210番)へどうぞ。

児童手当の 受給申請について

児童手当は、家庭生活の安定と次代を担う児童の健全な育成・資質の向上を図るために支給されます。手当を受けるためには、受給申請が必要です。まだ手当の支給を受けていない(新規)方は申請手続きをしてください。

▷児童手当を受けられる人

小学校入学前の児童を含む18歳未満の児童を2人以上養育している方で、収入が一定の額未満の方。なお、自分のお子さんでなくても、その児童を監護し、一定の生計関係があれば受給できる場合があります。

▷児童手当の額

2番目の児童には月額2,500円、3番目以降の児童には、1人につき月額5,000円が小学校の入学まで支給されます。

▷申請の際に必要なもの

- (1)印かん
- (2)年金加入証明書(厚生年金保険などの加入者は事業主の証明が必要です。一用紙は市民課にあります)
- (3)保険証
- (4)支払希望金融機関の名称と口座番号

※その他詳しいことは、市民課(☎352111番内線262番)へどうぞ。

平成2年秋の全国交通安全運動

期 間 平成2年9月21日(金)から同月30日(日)までの10日間

市民交通安全教室開催

○日 時 平成2年9月28日(金) 午前10時から正午まで

○場 所 五所川原市民文化会館 大ホール

○アトラクション 多田あつし(津軽三味線若手ナンバーワン)

多田あつしさんは、今年4月金木町で開かれた第2回津軽三味線全日本競技大会一般の部で1位になった津軽三味線のホープです。

○料 金 無料

一戸一戸に調査票を届けます。国勢調査にご協力を。

10月1日、全国一斉に国勢調査が行われます。

9月23日から30日までの間に、調査員が皆様のお宅に伺いますので、ご協力をお願いいたします。

国勢調査の結果は、福祉・雇用・交通対策、住宅・環境整備計画など、国や地方公共団体の行政に利用されるほか、人口分析などの学術研究や、一般の会社でも幅広く利用されます。



国勢調査
総務庁統計局

危険物の取扱作業の保安に関する講習

▷**受講対象者** 甲種、乙種及び丙種危険物取扱者免状の交付を受けている者で、次のいずれかに該当する者

- (1)危険物の製造所、貯蔵所又は取扱所において、危険物の取扱作業に従事しており、前回の講習を受講した日から3年以内の者
- (2)同上の取扱作業に従事することとなった日から1年以内の者
- (3)上記(2)に掲げる者で、当該取扱作業に従事することとなった日前2年以内に免状の交付又は講習を受けている場合は、それぞれ当該免状の交付又は当該講習を受けた日から3年以内の者
- (4)上記(1)、(2)及び(3)以外の者で、受講を希望する者

日 時	講習の種別	受付期間	講習会場
10月22日(月) 9:30~12:30	給油取扱作業所関係	9月20日~ 10月4日	市中央公民館
10月22日(月) 14:00~17:00	一般取扱所関係		

○後期危険物取扱者試験

試験日	受験者別	種別	受付期間
11月11日(日)	一般 (高校生以外の学生も含む)	甲種 乙種 丙種	10月1日~ 10月9日
11月18日(日)	高校生	乙種 丙種	

○消防用設備等の工事又は整備に関する講習

▷**受講対象者** 消防設備士の免状の交付を受けた日から2年以内の者及び前回の講習を受講した日から5年以内の者

日 時	講習区分	受付期間	講習会場
10月29日(月) 9:00~17:00	第1種・第2種	10月3日 まで	青森県総合 社会教育センター
10月30日(火) 9:00~17:00	第4種・第5種		
10月31日(水) 9:00~17:00	第3種		

※詳細については、消防本部予防課(☎352019 番内線25・27番)へどうぞ。

農業者年金制度をご存じですか

○農業者年金は農家のためにつくられた有利な制度です。

加入資格のある方は必ず加入しましょう。

※農業者年金の加入手続き、内容等の詳しいことは最寄りの農業協同組合、市農業委員会(☎352111番内線246番)へお気軽にご相談ください。

五所川原コミュニティカレッジ 講座開設

市教育委員会では本年度もまた青森職業訓練短期大学校のご協力により、コミュニティカレッジ(地域振興大学)を開設します。

本講座では、実際にパーソナルコンピュータやスーパーミニコンピュータに触れながら、いろいろなプログラムを作成し情報処理の実践に挑戦します。取り扱い方やプログラミングの基礎について説明しますので、コンピュータは初めてという人も積極的にご参加ください。

▷**開設期間** 10月13日~翌年1月26日までの8日間(午後2時~5時まで)

▷**場所** 青森職業訓練短期大学校(市内飯詰)

▷**募集人員** 40人(定員になり次第締切)

▷**テキスト代** 1,000円

▷**申し込み締切** 9月28日(金)

▷**申し込み先** 市教育委員会社会教育課(☎352111番内線248番)へ。

月 日	講座内容
10月13日(土)	パーソナルコンピュータ入門
10月27日(土)	MS-DOS入門
11月10日(土)	BASICプログラミング
11月24日(土)	
12月1日(土)	スーパーミニコンのシステム概要
12月15日(土)	スーパーミニコンのOSコマンド
1月12日(土)	プログラミング
1月26日(土)	

道路交通調査にご協力を

(1)一般交通量調査 ○平日・9月27日午前7時~(12時間) ○休日・9月30日午前7時~(同)

(2)自動車起終点調査 ○平日・10月24日午前7時~(24時間) ○休日・10月21日午前3時~(同)

このうち(2)の調査は、全自家用乗用車の中から無作為に抽出した車の走行内容を調査票に記入していただくものです。選ばれた車の所有者へは、後日調査員が訪問し、調査票の記入方法の説明をいたしますので、その節はご理解とご協力をお願いいたします。

また、調査内容は調査目的である、最近の自動車交通の実態と問題点を詳細に把握し、将来にわたる道路整備計画を策定するための基礎資料として活用されるものであり、その目的以外には一切利用されませんのでよろしくご協力願います。なお、詳しいことは五所川原土木事務所企画調査課(☎342111番内線275番)へどうぞ。

八甲田湿原を 歩いてみませんか!

毎日の仕事の忙しさに追われて、つつい忘れがちな「健康増進」ですが、大自然の宝庫八甲田で庭園遊歩道を散策して頭も身体もリフレッシュして明日への活力を蓄えよう。

▷日時 9月27日(木) 午前8時出発
▷場所 八甲田湿原地帯
▷日程 市役所前発 8:00～青森～八甲田ロープウェイ～八甲田ゴードライン散策～萱野茶屋高原(昼食)～城ヶ倉温泉(入浴)～青森～五所川原着17:00

▷参加費 (昼食代含む)
会員 1,000円 非会員 2,000円
▷募集人員 100名(定員になり次第締切)

▷締切日 9月20日
▷申込先 五所川原商工会議所(☎352121番)
※当日はズック靴・入浴用具持参でご参加下さい。

◎主催 五所川原商工会議所・中小企業相談所

弓道教室を 見学してみませんか

五所川原弓道会では、8月25日から毎週火・土曜日の午後7時より9時まで弓道教室を開催しており、現在、18歳～55歳の10名の男女が熱心に受講しております。

このたび、次のとおり見学会を行ないますので、市民の皆さんの多数のお出でをお待ちしております。

▷月日 第1回目 9月22日(土)19:00～21:00
第2回目 10月13日(土)19:00～21:00

▷場所 三道会館2階弓道場
▷問い合わせ先 成田ハンコ店(新町)

☎351083番

おやこ劇場例会のお知らせ

第8回低学年例会

人形劇団プーク公演

「怪じゅうが町にやってきた」

▷日時 9月24日(月) 午後6時30分開演

▷場所 市民文化会館

市民参加の植樹祭開催

市では、「緑を大切に、潤いのある生活を」テーマに、植樹祭を開催することになりました。

市民の皆さん多数のご参加をお願いします。

▷日時 9月30日(日) 現地午前10時から
▷場所 飯詰山国有林(味噌ヶ沢の奥)
▷申し込み先 9月26日までに、市農林課(☎

新農業センターから 農産物販売のお知らせ

○くり……………9月中旬～10月中旬
○りんご(つがる他) …9月中旬～11月上旬
○ぶどう……………9月中旬～10月中旬
○なし……………9月中旬～10月上旬
○くるみ……………9月中旬～10月中旬
※多数の方々を対象としたいので、全品目について1人当たりの数量を限定させていただきます。

◎詳しくは、新農業センター(☎372104番)へお問い合わせください。

第1回 五所川原市民(硬式)テニス大会

▷日時 10月7日(日) 午前9時受付
(雨天の場合は14日に延期)
▷場所 五所川原市営庭球場(菊ヶ丘運動公園)
▷種目 A級男子・女子ダブルス、B級男子・女子ダブルス(A級は県テニス協会選手登録者及びこれと同等以上と認められる方。B級はA級以外であれば初心者でも可)

▷参加資格 ○五所川原市に居住又は通勤・通学している方○市(硬式)テニス協会に加盟している団体に所属している方

▷参加料 1組 1,000円

▷申込方法 ハガキに出場者(2名分)の氏名、住所、生年月日、電話番号を記入し、市内稲実字米崎65-12 今井自動車工業内五所川原市テニス協会事務局へ(☎356751番)

“家族で交通ルールとマナーを学ぼう” ファミリーウォークラリー 参加者募集

▷日時 9月23日(日) 午前11時受付
▷場所 市庁舎前お祭り広場
▷申し込み先(先着100組で締切ります)
所定の申込用紙に記入して、五所川原警察署交通課、丸英でんき、青森放送五所川原支局、市役所受付で申し込んでください。
※参加者一組に小型ラジオをプレゼントします。

(☎2111番内線215番)へ申し込みください。

▷その他 ①服装は、作業服、長ぐつ又はズック、軍手を準備してください②市で送迎バスを用意しますので、当日午前9時までに市役所前にお集りください③昼食、使用器具は市で準備します④参加者全員に苗木を無償配布

保健センター相談日

10月5、12、19、26日(毎週金曜日)。(ただし、5、12、19日は午前中です)

▷時間 午前10時～午後3時

▷内容 血圧測定、尿検査等を含めた健康相談に応じますので、赤ちゃんからお年寄りまでお気軽にご利用ください。

三種混合(百日咳・ジフテリア・破傷風)

ワクチン接種

▷対象幼児 昭和61年10月1日から平成2年6月30日までに生まれた乳幼児。ただし生後48カ月を経過した乳幼児は接種できません。

(Ⅱ期分については、昨年Ⅰ期終了した幼児に限り48カ月以上でも接種できます)

▷申し込み方法 市衛生課、市役所各支所の窓口にて母子健康手帳を持参のうえおいでください。接種券を交付いたします。

▷申し込み期間 9月17日から21日まで

▷接種方法 下記の医療機関に接種券と母子健康手帳、問診票を持参してください。

▷接種期間

Ⅰ期	1回目	10月17日(木)・18日(木)・19日(金)
	2回目	11月14日(木)・15日(木)・16日(金)
	3回目	12月12日(木)・13日(木)・14日(金)
Ⅱ期	12月の日程で接種してください。	

▷接種料金 無料

◎実施医療機関

江渡 内科 医院	富田胃腸科内科医院
兼平内科小児科医院	都谷森小児科医院
川崎胃腸科内科医院	永田小児科内科医院
健生病院五所川原診療所	白生会胃腸病院
佐藤内科小児科医院	増田診療所
西北中央病院	三好診療所
対馬内科小児科医院	森田診療所

乳幼児の健康診査

▷場所 市保健センター

▷受付時間 12:45～13:00まで(なお、3歳児健診は12:30～13:00)

▷持参するもの 母子健康手帳、バスタオル。
3歳児は尿検査も行いますので、当日小ビンに尿を入れてもってきてください。

※注意 ①6ヵ月児健康相談の際に、神経芽細胞腫(小児がん)の検査セットを配布しますが、当日つごうで来れない場合は、母子健康手帳をもって衛生課窓口にてセットをもらいにきてください。(ただし生後6ヵ月、7ヵ月児に限る) ②病気療養中(特に伝染性の病気)のお子さんはご遠慮ください。

月 齢	対 象 児	期 日	内 容
3ヵ月児	H2年6月生	10月9日(火)	健康診査
6ヵ月児	H2年3月生	10月16日(火)	健康相談
1歳児	H元年9月生	10月22日(月)	健康相談
1歳6ヵ月児	H元年4月生	10月23日(水)	健康診査
3歳児	S62年6月生	10月18日(木)	健康診査

ゴミについてお願い

ゴミは、燃えるゴミ・燃えないゴミに区別して、決められた収集日の朝8時30分までに出して下さい。ゴミ収集場所はゴミ捨て場ではありません。みんなで協力して清潔にしましょう。

◎川や湖や海の水をきれいにするために私たちにできること。

○流しのなかに細かい目の三角かごなどを置いて、調理くずや食べ残しなどを流さないようにしましょう。



○油はそのまま流さないで、新聞紙などにすいこませてごみとして出します。



○調理くずや食べ残しは、土に埋めると自然に分解されます。そのあと肥料としても使えます。米のとぎ汁なども肥料となります。



川

柳

川柳岩木吟社

父の背に生きる答えが書いてある

肩書きを名刺の裏まで刷った雑魚

チケットで動きとれない蟻地獄

こだわりを捨てれば視野が広がる

小心を見抜かれまいとする虚勢

甘すぎた子育て親に銃を向け

西光

しげる

草林

山竿

彩人

一閃

ごまかみん

広報

水害特集



シンボルマーク



現地視察に訪れた北村知事、木村代議士に被害状況を説明する佐々木市長

被災された市民のみなさんに 心からお見舞い申し上げます

九月十七日の夕方から十八日にかけて大雨をもたらした秋雨前線の活発な動きに加え、十九日から二十日にかけて日本列島を縦断した台風十九号による大雨により、岩木川の水位が上がったため、市内を流れる支流・旧十川等の水が岩木川へスムーズに流れなくなり、松島町・一ツ谷・吹畑・漆川等の地区で水害が発生しました。

市では、職員百名、消防署員六十名、消防団員四百五十名が出動し、地元住民の協力を得て土のう積みやポンプによる排水作業を行いました。旧十川の増水が続く、被害の拡大が懸念されたため、県を通じ午後零時二十分陸上自衛隊の派遣を要請しました。

自衛隊員百名は午後三時に現地に到着後、直ちに松島町、一ツ谷地区の旧十川堤防で土のう積み作業を開始、また、溢水のおそれが出てきた中泉地区に移動し、新十川の中泉橋上流部で作業に従事しました。

被害の状況は、家屋の床上浸水十二戸、床下浸水百

八十五戸、水田の冠水六十三・四ヘクタール（被害額五百六十八万円）、農林施設は道路二か所、林地の崖崩れ〇・四五ヘクタール、農地の崩壊等十五か所（被害額五千万円）、道路、河川等の土木施設関係が二十九か所（被害額二億七千三百八十万円）、文教、公園施設関係（被害額百四十五万円）、このほか浸水による商品の被害があり、これらを総計すると被害額は三億八千三百万円に及びました。

また、二十一日には北村県知事・木村守男国会議員ら一行が佐々木市長の案内で旧十川沿いの石岡地区を視察しました。

佐々木市長は「旧十川は原始河川であり、昭和四十五年から三回にわたって危険な状態になった。改修工事促進と予算の増額に特段の配慮をお願いします」と要請しました。

市では、市内中小河川の改修について今後も国、県に対しその促進を要望していくことにしています。



河川改修を 早急に！



道路が冠水し、住宅にも浸水被害が出た松島2丁目地区



溢水のおそれの出てきた新十川・中泉橋上流部での土のう積み作業

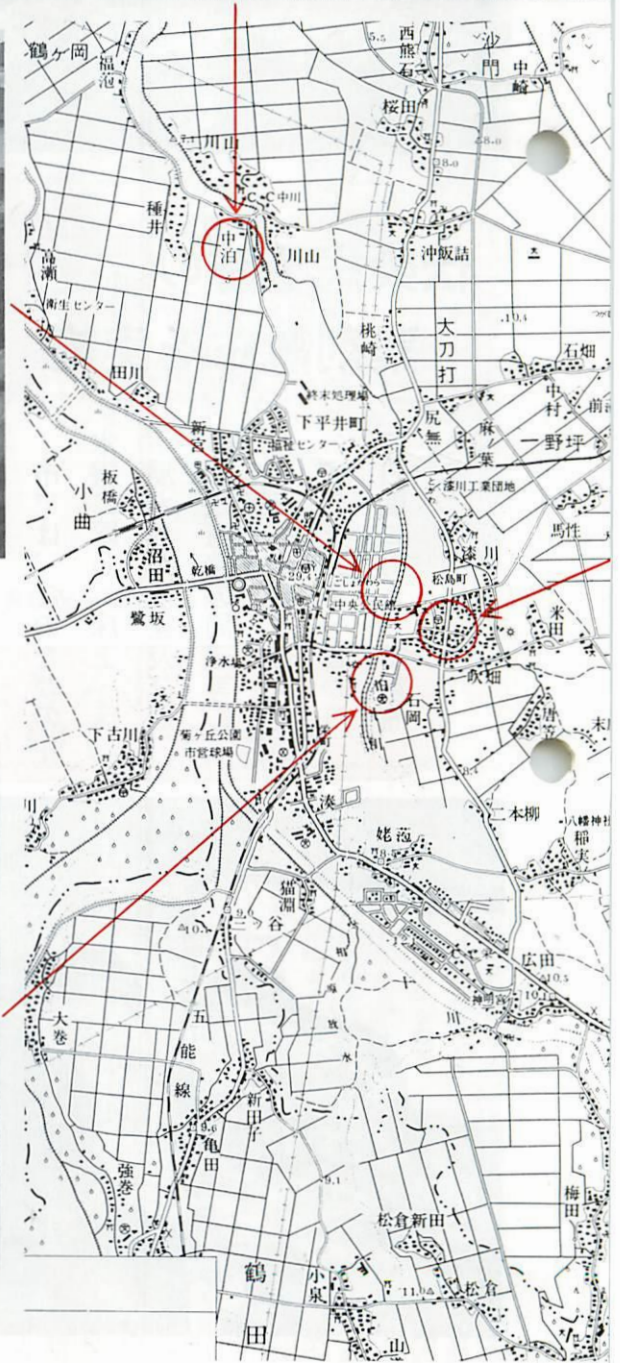
水びたしになった水田
(中泊地区)



自衛隊員による一ツ谷地区の旧十川堤防で行われた土のう積み作業



鎌谷橋から見た、石岡地区(五商高北側)のポンプによる排水作業



赤十字奉仕団 船水工務店が

炊き出し

市では、今回の水害に際し、土のう積みやポンプによる排水作業に従事している消防団員、自衛隊員等に炊き出しが必要となり、五所川原市赤十字奉仕団（高満タカ委員長に五百食分（おにぎり千個）の炊き出しを依頼しました。

同奉仕団では、団員二十名を動員し、市働く婦人の家で炊き出しを行いました。

また、市内石岡の船水工務店（船水富則社長）では、八十食分のおにぎりを差し入れし、関係者から感謝されました。



伝染病予防の 薬剤散布を実施

市では、このたびの水害に際し、床上・床下浸水した住家及び冠水した道路の周辺等に伝染病を予防するための薬剤を二十一日から三日間にわたって散布しました。



浸水住家に 見舞金品贈る

市では、水害により住家が床下浸水以上の被害を受けた世帯に、日赤からの義援品を含め見舞金を贈ることになりました。

九月二十九日午前小山内助役らが巡回し、手渡しました。

